WPCモスクワ大会報告会

報告分野：展示活動

2014年9月4日
千代田化工建設㈱
営業本部
営業第5セクション
豊嶋　学

報告分野：展示活動

目次

1. WPCモスクワ大会概要

2. 展示活動の概要
・出展者の概観
・出展者のテーマ
・3大キーワード

3. 日本企業の展示活動

4. 海外企業の展示活動

5. 弊社の展示活動について
・国際会議への出展の意義
・展示手法の刷新について
・ブース運営

1.WPCモスクワ大会概要

1. WPCモスクワ大会概要（1）

- 30人：閣僚級
- 400人：CEOクラス
- 約5,000人：Congressに参加
- 約500社：展示出展

1. WPCモスクワ大会概要（2）

2. 展示活動の概要

2. 展示活動の概要（1）

☆出展者の概観

主要出展企業

・IOC（オイルメジャー）：5社
・NOC(主要国営石油会社)：45社
・エンジニアリング企業：11社
・サプライヤー：26社

2. 展示活動の概要（2）

☆出展者のテーマ

・Offshore/Upstream
・持続可能社会・CSR
・再生可能エネルギー

2. 展示活動の概要(3)

2. 展示活動の概要(4)

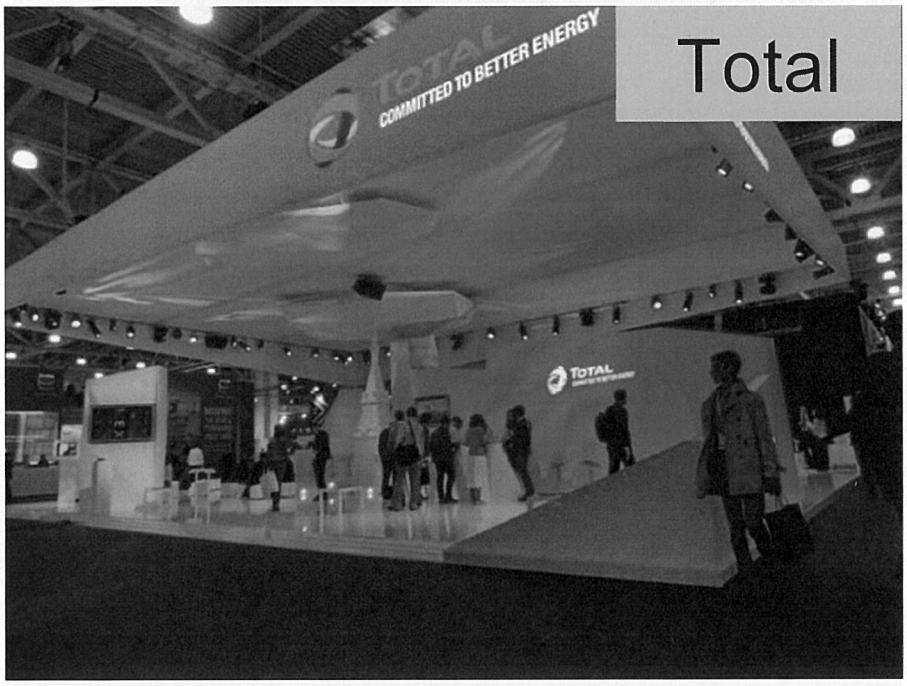
2. 展示活動の概要(5)

☆3大キーワード(Offshore/upstream)

・非在来型資源
・大深海
・北極圏

2. 展示活動の概要(6)

・北極圏を意識した展示(例)



2. 展示活動の概要(7)

・北極圏を意識した展示(例)

2. 展示活動の概要(8)

・大深海を意識した展示(例)

3. 日本企業の展示活動

3. 日本企業の展示活動（1）

☆日本企業各社の展示

先進技術をアピールしつつ、
日本文化の発信を行い、
チームジャパンとして存在感
を発揮した。

3. 日本企業の展示活動（2）

・日本文化の発信（1）

3. 日本企業の展示活動（3）

・日本文化の発信（2）

3. 日本企業の展示活動(4)

JOGMEC

ロシアでの油生産共同事業、
技術開発成果の紹介

2014 MOSCOW 21ST WORLD PETROLEUM CONGRESS

3. 日本企業の展示活動(5)

INPEX

ブース全景

2014 MOSCOW 21ST WORLD PETROLEUM CONGRESS

3. 日本企業の展示活動(6)

3.日本企業の展示活動（7）

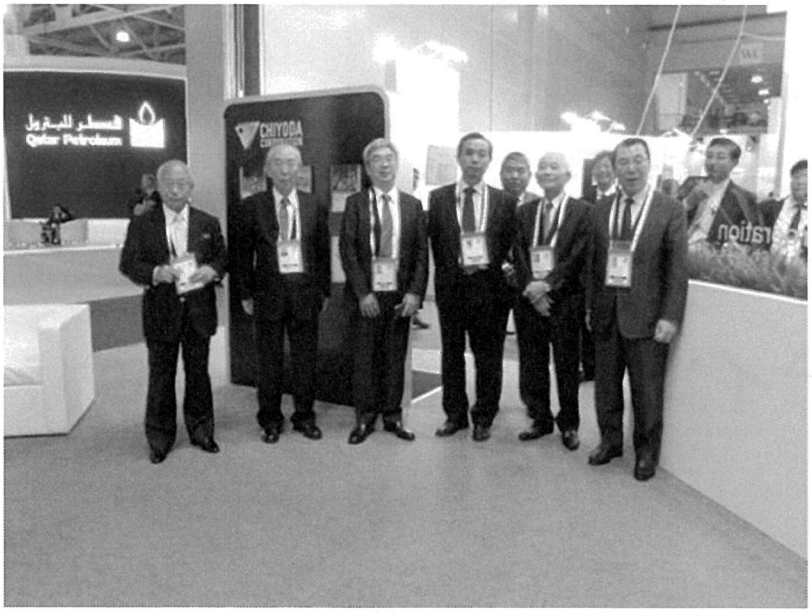
3.日本企業の展示活動（8）

3. 日本企業の展示活動（9）

3. 日本企業の展示活動（10）

3. 日本企業の展示活動（11）

☆日本国内委員会正副会長による日本企業
各社のブース訪問



4. 海外企業の展示活動

4. 海外企業の展示活動（1）

トレンド及び気づいた点

・巨大な展示ブース
・巨大プラント模型
・キャラクター系展示
・エンターテインメント系展示

4.海外企業の展示活動(2)-Lukoil-
(巨大な展示ブース)

4.海外企業の展示活動(3)-Novatek-
(巨大な展示ブース)

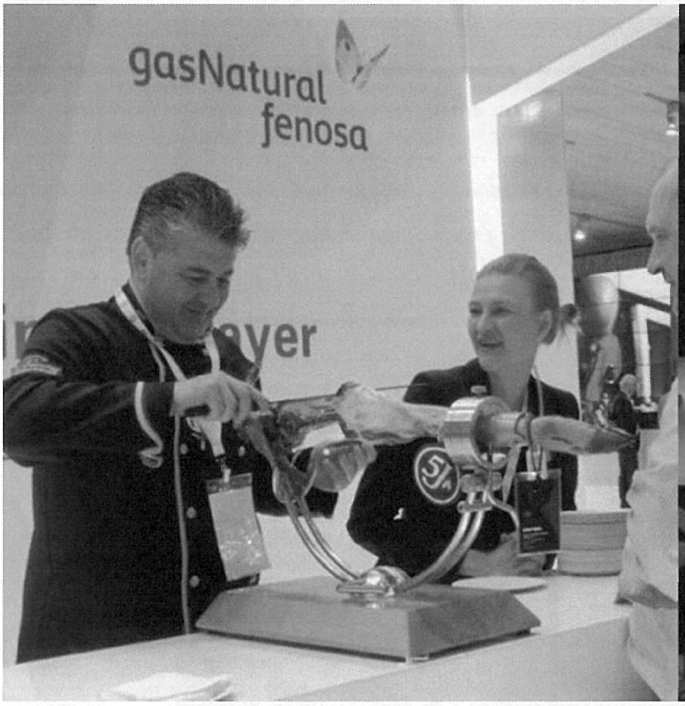
4.海外企業の展示活動4)-Gazprom-（巨大な展示ブース）

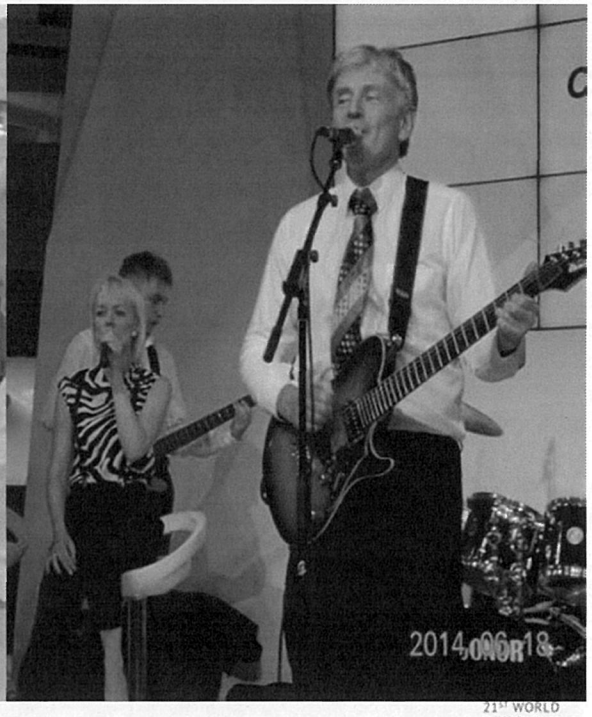
4.海外企業の展示活動(5)-Sinopec-(巨大な展示ブース)

4.海外企業の展示活動(6)
(巨大プラント模型)

4.海外企業の展示活動(7)
(キャラクター系展示)

4.海外企業の展示活動(8)
(エンターテインメント系展示)





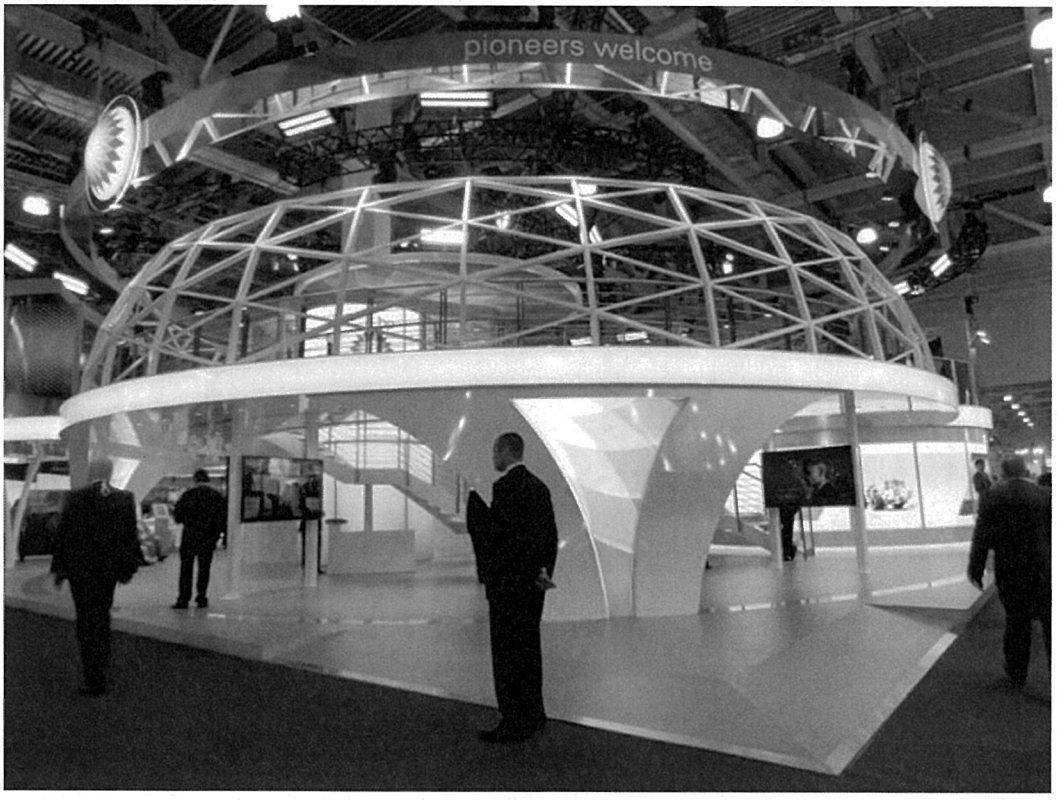
21ST WORLD PETROLEUM CONGRESS

4.海外企業の展示活動(9)-
Shell-

2014 MOSCOW 21ST WORLD PETROLEUM CONGRESS

4.海外企業の展示活動（10）
- ExxonMobil-

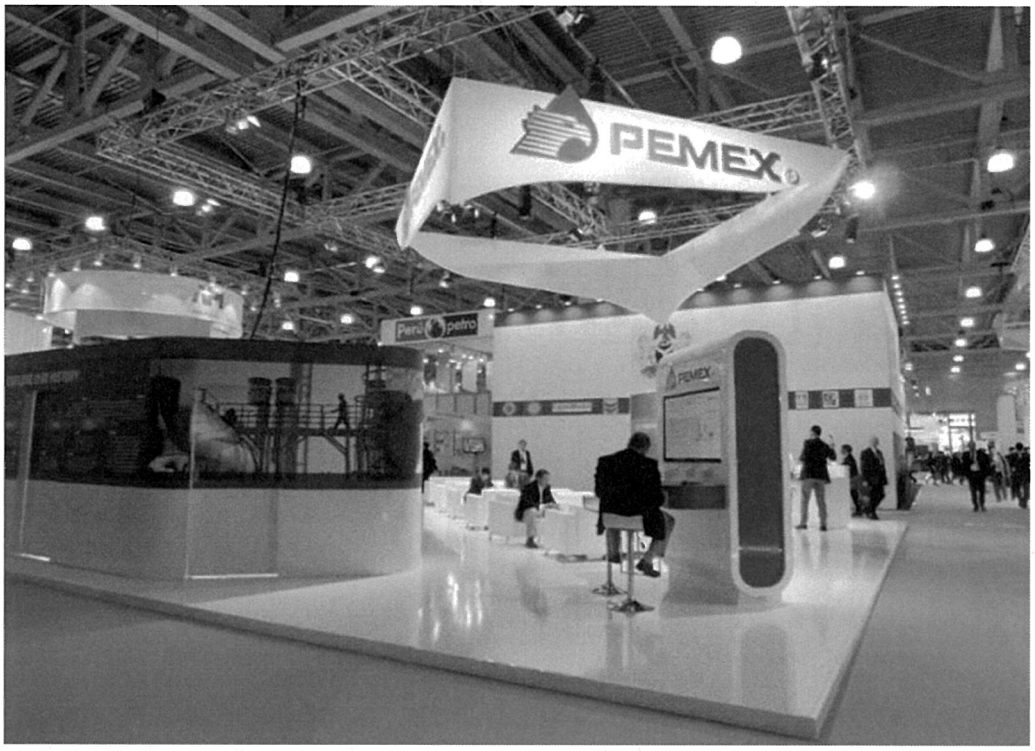
4.海外企業の展示活動（11）-
BP-



4.海外企業の展示活動（12）-Statoil-

4.海外企業の展示活動（13）
-NIOC（イラン）-

4.海外企業の展示活動（14）
-PEMEX（メキシコ）-



4. 海外各社の展示活動（15）
-Qatar Petroleum-

5.千代田化工建設の展示活動

5.千代田化工建設の展示活動（1）

☆国際会議への出展の意義

・プレゼンスの発揮
・業界トレンドの把握
・国内外顧客との交流

5.千代田化工建設の展示活動(2)

・展示手法刷新について

従来型の展示手法

2014 MOSCOW 21ST WORLD PETROLEUM CONGRESS

5.千代田化工建設の展示活動(3)

・展示手法刷新について

2014 MOSCOW 21ST WORLD PETROLEUM CONGRESS

5.千代田化工建設の展示活動（4）

・ブース運営・VIPレセプション

5.千代田化工建設の展示活動（5）

・ブース運営・抹茶アイスイベント

5.千代田化工建設の展示活動(6)

・ブース運営・安全管理

報告分野:展示活動

ご清聴ありがとうございました。

第２１回世界石油会議モスクワ大会　総括

日本国内委員会副会長・技術委員会委員長
辰巳　敬

２０１４年６月１５日から１９日までロシア連邦モスクワで第２１回世界石油会議大会が開催された。２１ 回を超える世界石油会議においても同一都市で開かれるのは極めて珍しく、ロンドンに次いで二例目であるが、前回の開催は１９７１年の第８回であり、言うまでもなくソビエト連邦の時代であった。

ソビエト連邦解体後、かつての世界を二分する大国の面影をすっかり失っていたロシアであるが、２１世紀に入ってからの石油を始めとする化石資源の価格高騰により、資源大国としてのロシアは往年の勢いを取り戻しつつある。そのような中で開かれたモスクワ大会であるが、ウクライナ情勢によって欧米とロシアの緊張感の高まる中で欧米からの参加者の減少を懸念する向きもあった。結果的には８０カ国から４，８００名以上の参加があり、前回ドーハ大会の５，２００名から比べてわずかな減少にとどまった。日本からも約１４０名の参加者があった。

全体講演としては、まず、「ロシア石油産業の展望」というタイトルでの開会セッションが月曜朝に開かれた。このセッションには当初プーチン大統領の基調講演が予定されており、それも初日のオープニングセレモニーでの登壇とされていたものがこの開会セッションに変更された経緯があり、大いに期待したが、結果的には登壇はなかった。ガスプロムのミレル社長の姿も無く、メドヴェージェフ副社長が代理を務めた。ウクライナ向けのガス供給停止問題を巡る決断をしたまさにその時点であったためのキャンセルとなったとも言われる。その他の全体講演ではエクソン・モービル社のティラーソン会長が同社のロシアにおけるエネルギー開発について講演した。北極海、シベリアでの資源開発、超深海油田、非在来型資源の開発を通じて、世界的なエネルギー需要の増大に対して環境と調和したエネルギー供給の責任を果たして行くことの重要性が強調された。その他、ロシア、ヨーロッパ、中国の企業トップによる講演も行われた。

技術セッションは探鉱と生産、精製・輸送・石油化学、天然ガスプロセシング・輸送・市場、産業の持続的経営の４つのブロックに分かれ、それぞれのブロックはForum、Best Practice Keynote Sessions、Round Tablesの３種のセッションから構成されていた。日本からは２１名がこれらのセッションに参加し、石油開発、メタンハイドレート、触媒、環境技術、新燃料技術等について発表を行った。国内技術委員会の活動とそれに応えた会員企業の協力もあって前回ドーハ大会に比べて発表者が増加した。数だけでなく，日本からの発表はいずれも技術的にレベルが高く、諸外国からも敬意を払われるものであった。このようなかたちでの我が国からの技術発信を今後も継続していくことが、さまざまなパートナーシップの構築・確立に多いに役立つものと考えている。

大会全体としてみると、発展途上国のエネルギー需要拡大が見込まれる一方、原子力の先行きの不透明性、再生可能エネルギーの商業化・規模拡大の困難性により、エネルギー供給の不安定性が高まっているとの認識が共有された。従って、前回のドーハ大会以降も引き続き、在来型、非在来型を合わせた石油・ガス等の化石エネルギーの中期的重要性が高まっていることが確認され、資源開発とその有効利用のための技術開発の活発化の必要性が強調されたものと言える。同時に資源開発において大きな可能性を持つホスト国ロシアの存在感が示された大会でもあった。

今回のモスクワ大会スポンサー企業として我が国から国際石油開発帝石株式会社が協力した。また、会議本体と並んで大規模なPetroleum Exhibitionが開催されたが、これには日本国内委員会をはじめ、９社・団体が出展した。

会場のクロッカス・エキスポはモスクワの北西方向郊外にあり、交通渋滞が頻発するモスクワでの会場へのアクセスの不便さが懸念されたが、実際には大きな問題はなかったようである。主要ホテルからはシャトルバスが頻繁に運行され、優先レーンも要所で設置されていたおかげでホテルからの往復にはほとんど支障は生じなかった。また、若い学生らしいエイドが会場内・周辺のそこかしこに配置されており、参加者を親切に誘導し、また、質問に熱心に答えていたのは好感が持てた。

今回の会期中に開催された評議会（Council Meeting）ではハンガリーのトート氏が新会長に選出されたのを始め、次回イスタンブール大会までの体制が決まった。CPC（大会プログラム委員会）委員には波田野事務局長が引き続き選出された他、計１７名が選ばれた。

社交行事としては大会初日の１５日（日）には、クレムリン宮殿内でのオープニングセレモニー、３日目（火）にはロシアンナイト、４日目（水）最後の夜にはユースパーティーが開かれた。このため大会全体としての公式行事のない１６日（月）に集中的に各国独自のイベントが企画された。日本国内委員会はホテル・ナショナルにおいて天坊日本国内委員会会長主催によるレセプションを開催した。原田駐ロシア特命全権大使の他、ベルターニWPC会長、新会長のトート氏が出席された。ベルターニ、トート両氏は数ある各国レセプションの中から日本のそれを選んで出席された訳で我が国のプレゼンスの向上を示したものと言える。

最後に、事前に周到な準備をされ、現地での活動の円滑な進行に大いに貢献された事務局の方々に感謝申し上げる。

議長・副議長（5名）、スピーカー（5名）、ポスター発表者（8名）、モデレータ(1名)、パネリスト（2名）　（日時順）

No	日付	時間	セッション	議長等	氏名	タイトル
1	6月16日（月）	10：15－11：45	F9	副議長	五十嵐 仁一	燃料と石油化学製品の二酸化炭素排出量削減
2	6月16日（月）	10：15－11：45	F14	副議長（＊）	中村 守孝	CNG、 LNG、 GTL、CTL、BTL、CBM、 ハイドレートにおける新しい開発と将来の成長：需要と供給
3	6月16日（月）	10：15－11：45	F14	スピーカー	増田　昌敬	商業開発に向けた世界初のガスハイドレート海洋生産への挑戦
4	6月16日（月）	16：00－17：30	RT07	パネリスト	小山　堅	世界的な天然ガス市場は必要か？
5	6月16日（月）	16：00－17：30	F10	スピーカー	武藤　昭博	経由の水素化脱硫ハイブリッドチタニア触媒の商業化
6	6月16日（月）	16：00－17：30	F10	スピーカー	小笠原 巌	高過酷度流動接触分解（HS-FCC）技術・プロピレン増産のために
7	6月17日（火）	14：15－15：45	F20	スピーカー	杉本　亨	無事故無災害プログラムに支えられている精力的行動観察及び仲裁プログラムに係る 安全文化の開発
8	6月17日（火）	16：00－17：30	RT08	モデレータ	田中 伸男	天然ガスの将来は？
9	6月17日（火）	16：00－17：30	RT08	パネリスト	村木 茂	天然ガスの将来は？
10	6月18日（水）	14：15－15：45	F06	スピーカー	川田 耕治	由利原油ガス田における玄武岩貯留層：地質モデル作成
11	6月18日（水）	16：00－17：30	F23	副議長	保田 隆	石油・ガス産業の環境持続可能性を確保するためのエネルギー効率化技術
12	6月19日（木）	14：15－15：45	F8	副議長	手塚 和彦	油層の統合管理と監督
13	6月19日（木）	14：15－15：45	F13	副議長	細野 恭生	NGLの活用
14	6月17日（火）	11：10	F14	ポスター発表	渡辺 恒男	希薄原料ガスからＮＧＬ回収のための設計考察
15	6月17日（火）	11：50	F09	ポスター発表	渡邉 学	ＪＡＴＯＰの概要と成果ー高濃度バイオ燃料使用における対策と課題
16	6月17日（火）	14：00	F02	ポスター発表	佐々木 久郎	メタンハイドレート層からガス生産のためのＧＴＷシステム
17	6月17日（火）	14：00	F10	ポスター発表	森田 全人	残渣油処理におけるRDS/RFCC装置の有効活用
18	6月18日（水）	11：30	F11	ポスター発表	三橋 秀一	低環境負荷前処理技術を用いた草本エネルギー作物からのセルロースエタノール一貫 製造システムの開発
19	6月18日（水）	13：40	F08	ポスター発表	熊野 裕介	長期マイクロサイスミックモニタリングによる貯留層および帽岩の力学的健全性評価
20	6月18日（水）	14：00	F25	ポスター発表	細野 恭生	大規模な水素エネルギー貯蔵・輸送のための新プロセス
21	6月19日（木）	13：30	F23	ポスター発表	福島 直哉	常在性微生物を利用した地中でのＣＯ２のメタンへのバイオ電気化学的変換

（＊）中村氏は議長の病欠のため議長代役を務められた。

世界石油会議モスクワ大会　刊行物リスト

出版物

議事関連

21st WORLD PETROLEUM CONGRESS OFFICIAL PROGRAMME
（大会全般のプログラム）
GLOBAL LNG AND GTL MAP 2014
（2014年のLNG/GTL分布地図）
ABSTRACT BOOK
（全技術セッション毎の議長、著者、発表者、要旨）
RESPONSIBLY ENERGISING A GROWING WORLD
(OFFICIAL PUBRICATION OF THE 21ST WORLD PETROLEUM CONGRESS)
（モスクワ大会テーマに沿って、世界の各分野著名人による投稿）
WPC YOUTH
（WPCのユース活動の目的、組織、特集記事）
DELEGATE LIST
（参加者の国別、氏名、所属機関・企業名、役職）

会場関連

EXHIBITION CATALOGUE
（ブース配置図、展示場でブースを出展した企業・団体の紹介）
デイリーニュース
21ST WORLD PETROLEUM CONGRESS DAILYNEWS（SUNDAY 15 JUNE 2014～TUESDAY 17 JUNE 2014分）

上記刊行物（含むDVD)は、世界石油会議日本国内委員会（石油連盟内）で保存しております。

第21回世界石油会議モスクワ大会（2014年6月）

6月15日(日)

- 10:30 CPC委員・議／副の合同会議 (Conference Hall, Metropol Hotel)
- 13:00-17:00 世界石油会議評議会 (Conference Hall, Metropol Hotel)
- (17:00 Kremlin開場)
- 19:00-22:00 開会セレモニー (State kremlin Palace)

6月16日(月)

会場

時間	展示場	PL-HALL	BLOCK1	BLOCK2	BLOCK3	BLOCK4	ROOM5	ROOM6
8:30-9:30								
9:30-10:30		9:00 開会講演 成長する世界のためのエネルギー戦略 — 議：H.E Dharmendra Pradhan, Minister of Petroleum& Natural Gas, India; ス：H.E Arkady Dvorkovich, Deputy Prime Minister for Energy, Russian Federation; Igor Sechin, CEO, Rosneft, Russian Federation; Rex Tillerson, Chairman, Exxon Mobil Corporation, USA						
		休憩 (10:00-10:15)						
10:45-11:45	展示開会式 10:30-11:45	SP2 極地開発の課題—産業界と政府の協力	F1 フォーラム 老朽油田における新たな機会	F9 フォーラム 燃料と石油化学製品の二酸化炭素排出量削減 JX五十嵐仁一(副)	F14 フォーラム CNG、LNG、GTL、CTL、BTL、CBM、ハイドレートにおける新しい開発と将来の成長：需要と供給 千代田 中村守孝(議) 東大 増田昌敬(ス)	F18 フォーラム 石油・ガス産業における投資：挑戦と機会	RT1 新たな資源をどこに求めるか？ (BLOCK1)	SP3 ビッグデータ—石油(エネルギー)業界への課題
			休憩 (11:45-12:00)					
12:00-13:00	12:00 ビジター入場	SP1 2014年の世界エネルギーにかかわる統計的レビュー	BP1 基調講演 北極圏および深海メガプロジェクトの管理	BP3 基調講演 製油所における安全操業の実現	BP5 基調講演 水圧破砕技術の最善策	BP8 基調講演 知識管理	EW6 スロベニア	
							(ランチ提供時間 12:30-14:30)	
13:00-14:00		13:15-14:00 (会場：PL-HALL) WPC優秀表彰 — 石油産業における技術開発または社会的責任に関し顕著な功績のあった企業・研究所その他公的・私的組織に対して授与される。						
14:15-15:45		14:15-15:45 開会セッション ロシアの石油産業の展望 — 議：H.E Arkady Dvorkovich, Deputy Prime Minister for Energy, Russian Federation; ス：H.E.Abdalla salem El-Badri, Secretary Generral, OPEC; Igor Sechin, CEO, Rosneft, Russian Federation; Alexey Miller, CEO, Gazprom,Russian Federation; Vagit Alekperov, CEO, Lukoil, Russian Federation; 閉会基調講演：Vladimir Putin, President of the Russian Federation						
		休憩 (15:45-16:00)						
16:00-17:30		SP4 技術—石油開発技術革新の次なるウエーブ	F2 フォーラム 北極圏における石油開発	F10 フォーラム 炭化水素転換のための革新的触媒プロセス 千代田 武藤昭博(ス) JX 小笠原巌(ス)	RT7 世界的な天然ガス市場は必要か？ IEE 小山堅(パ)	F19 フォーラム 装置、原材料およびローカルコンテンツ・インフラストラクチャの安定供給の確保	SP5 埋蔵量と資源分類及び報告—変化する世界に対応して	SP6 変化する世界におけるエネルギー経済
18:00～	18:00 展示終了							

日本人が関係する会議・イベント等は赤枠で囲んであります。
ポスター発表は、関連フォーラムの翌日(F8のみ前日)にポスタープラザで行われます。
ポスタープラザは4ブロック別に分かれています。

19:30-21:30 日本国内委員会主催レセプション (Hotel National)

6月17日(火)

会場

時間	展示場	PL-HALL	BLOCK1	BLOCK2	BLOCK3	BLOCK4	ROOM5	ROOM6
		PL3 (会場：PL-HALL) 発展推進のための石油(エネルギー)産業の役割 — 議：Daniel Yergin, Vice Chair, IHS, and Pullitzer Prize Winner for "The Prize", USA; ス：Bob Dudley, CEO, BP, UK; Jose Alcides Santoro Martins, Director, Gas & Energy and Member of the Board, Petrobras, Brazil						
		PL4 (会場：PL-HALL) 科学と技術：将来の活性化 — 議：H.E. Suhail Mohamed Al Mazrouei, Minister of Energy, UAE; ス：Helge Lund, CEO, Statoil, Norway; Samir Brikho, CEO, AMEC, UK						
		休憩 (10:30-10:45)						
10:00-18:00	10:00 展示開始 ポスター	RS1	MS インド	MS (ウルグアイ)	MS	MS サウジアラビア	MS カザフスタン	MS ナイジェリア
		休憩 (11:45-12:00)						
	11:10 F14千代田 渡辺恒男 11:50 F9 JPEC 渡邊学	RS2	BP2 基調講演 石油開発におけるリスク管理のための最善策	RT4 製油所近代化に及ぼす製品規格の影響	BP6 基調講演 ガス・メガプロジェクトの管理	BP9 基調講演 倫理と汚職防止	EW1 カザフスタン	EW2 ウルグアイ
							(ランチ提供時間 12:30-14:30)	
	14:00 F2 九大 佐々木久郎 14:00 F10 出光 森田全人	PL5 (PL-HALL,13:00-14:00) 在来及び非在来型石油・ガスにおける新領域 — 議：Li Fanrong, CEO and President, CNOOC Limited, China; ス：Eulogio Antonio del Pino Diaz, Vice President of Exploration and Production, PDVSA, Venezuela; Yves-Louis Darricarrere, President, Total Exploration & Production, France						
		RS3	F3 フォーラム 深海の石油開発	F11 フォーラム バイオ燃料生産技術	F15 フォーラム 非在来型ガス供給増加の影響	F20 フォーラム HSEを取り巻く運用上の課題と災害管理 日揮 杉本亨(ス)	F5 フォーラム 新地球科学技術 (BLOCK1)	SP7 精神的指導力—石油(エネルギー)山稜における優秀な人材の登用
		休憩 (15:45-16:00)						
	18:00 展示終了	RS4	F4 フォーラム 非在来型石油・ガスの開発	RT5 異なる原料から得られたバイオ燃料の持続可能性	RT8 天然ガスの将来は？ IEE 田中伸男(モ) 東京ガス 村木茂(パ)	F21 フォーラム 規制の問題：ガバナンス、リスク、コンプライアンス	F25 フォーラム エネルギー貧困への取り組みにおける石油・ガス産業の役割(BLOCK4)	SP8 石油(エネルギー)産業イメージの一新

19:00-23:00 ロシアンナイト(Gorky Park)

第21回世界石油会議モスクワ大会（2014年6月）

補足2

6月18日(水)

会場

展示場	PL-HALL	BLOCK1	BLOCK2	BLOCK3	BLOCK4	ROOM5	ROOM6
	PL6（会場：PL-HALL） 利害関係者の要求への対応： 操業のためのライセンス	議：B Ashok, Chairman Designate, Indian Oil Corporation, India ス：Antonio Brufau, Chairman and CEO, Repsol, Spain Javier Gutierrez Pemberthy, CEO, Ecopetrol, Colombia					
	PL7（会場：PL-HALL） 石油（エネルギー）産業の 持続的資金調達	議：Anita George, Senior Director of the World Bank Group Enery and Extractives Global Practice, USA ス：József Molnár, Group CEO, MOL, Hungary Greg Roder, Executive Vice President Strategy and Growth, Woodside, Australia Mikhail Shamolin, CEO, AFK Sistema, Russia					
10:00 展示開始	休憩：(10:30-10:45)						
ポスター	RT9 地球温暖化問題の行方は？	MS ノルウェー	MS ウルグアイ	MS キューバ	MS アンゴラ	MS セルビア	MS
11:30 F11 JX 三橋 秀一	休憩 (11:45-12:00)						
	SP9 行政「成長する世界へのエネルギー供給責任」	RT2 新たな地域進出に必要なことは何か？	BP4 基調講演 原油と石油製品の輸送、ブレンディング、貯蔵の最適化	BP7 基調講演 処理と輸送における新たなガス技術の最善策		SP10 IEAの2014年長中期石油市場レポート	
						（ランチ提供時間 12:30-14:30）	
13:40 F8 JGI 熊野裕介 14:00 F25 千代田 河合 裕教	PL8（PL-HALL,13:00-14:00） 新たな生産者・消費者バランス	議：Zack Henry, Director, Energy Dialogue, IEF ス：H.E. Abdalla Salem El-Badri, Secretary General, OPEC Keisuke Sadamori, Director, Energy Markets and Security, IEA					
	SP11 石油・ガス産業の社会的責任—操業のための社会的ライセンスの獲得	F6 フォーラム 複雑な地質環境における課題 JAPEX 川田耕司(ス)	F12 フォーラム 原油と石油製品のパイプライン輸送および貯蔵	F16 フォーラム ガス長距離輸送における新たな展開(パイプライン、船舶、国境を越えた問題)	F22 フォーラム 石油・ガス産業を発展させる上での技術革新と技術の役割	RT10 国際協力 (BLOCK4)	SP12 ロシアとアラブ世界—石油・ガス産業部門における協力
	休憩 (15:45-16:00)						
	SP13 若者—持続的なエネルギー未来のための継承の形成	F7 フォーラム 先進的な掘削・生産技術	SP14 緊急時の備えと業界での協力	SP15 規制機関—全世界の最善策とケーススタディ	F23 フォーラム 石油・ガス産業の環境持続可能性を確保するためのエネルギー効率化技術 JGC保田隆(副)	RT11 石油企業からエネルギー企業への転身 (BLOCK4)	SP16 非在来世界におけるLNGの役割
18:00 展示終了							
	18:30-23:00 ユース・パーティー(Izmailovo Kremlin)						

6月19日(木)

会場

展示場	PL-HALL	BLOCK1	BLOCK2	BLOCK3	BLOCK4	ROOM5	ROOM6
	PL9（会場：PL-HALL） 安全と環境の完全な 記録を目指して	議：Sigve Knudsen, Executive Vice president, Petroleum Safety Authority, Norway ス：Chayong Borisuitsawat, Safety, Security, Health & Environment Division of PTTEP, Thailand Simon Durkin, VP Safety, Environment & Social Performance, Shell, Netherlands					
10:00 展示開始	PL10（会場：PL-HALL） 地政学的協力—長期的 エネルギー持続性確保	議：Renato Bertani, President, World Petroleum Council ス：Alexander Novak, Minister of Energy, Russia Besim Sisman,CEO, Turkish Petroleum Corporation, Turkey Hosnia Hashim, Vice President, Operations, Kufpec, Kuwait					
	休憩：(10:30-10:45)						
		MS	MS パキスタン	MS コロンビア	MS トルコ	SP17 レメディエーションへの取組み	SP19 イラン・ガス協会調査
	休憩：(11:45-12:00)						
ポスター		RT3 探鉱から生産までの時間をいかに最適化するか？	RT6 石油精製と石油化学コンビナートの統合化への挑戦	EW3 スペイン	EW4 イギリス		EW5 ブラジル
						（ランチ提供時間 12:30-14:30）	
13:30 F23 東大 福島直哉	PL11（PL-HALL,13:00-14:00） ガバナンスと倫理の基準強化	議：Joe Saddi, Senior Partner and the Managing Director of Strategy &PwC ス：Randi Martinsen, President AAPG and Senior Lecturer, University of Wyoming, USA Sunil Kumar Srivastava, Chairman & Managing Director, Oil India Ltd., India					
		F8 フォーラム 油層の統合管理と監督 JAPEX 手塚和彦(副)	F13 フォーラム NGLの活用 千代田 細野恭生(副)	F17 フォーラム アジアのガス需要を満たすための供給と輸送	F24 フォーラム 人的資源：挑戦と機会	RT12 地政学 (BLOCK4)	SP18 非在来型資源—経済性及び規制
16:00 展示終了	休憩 (15:45-16:00)						
	16:00- ＜デュハースト講演＞石油産業における功績に対するデュハースト賞受賞者の講演 アブドッラー・ビン・ハマド・アル・アティーヤ・カタール国行政監督庁長官						
	閉会セレモニー						

日本人が関係する会議・イベント等は赤枠で囲んであります。
ポスター発表は、関連フォーラムの翌日(F8のみ前日)にポスタープラザで行われます。
ポスタープラザは4ブロック別に分かれています。

時間
8:30-9:30
9:30-10:30
10:45-11:45
12:00-13:00
13:00-14:00
14:15-15:45
16:00-17:30
18:00～

補足3

第21回世界石油会議モスクワ大会への日本からの参加者数

(1)主な参加者(国内委員会関係)

① 天坊 昭彦 日本国内委員会 会長
② 黒田 直樹 同 副会長
③ 辰巳 敬 同 副会長
④ 久保田 隆 同 副会長
⑤ 渡 文明 同 顧問
⑤ 木村 康 石油連盟 会長
⑥ 青木 宏道 日本国内委員会 朝倉副会長代理
⑦ 波田野 純一 同 事務局長

※上記役職は、2014年 6月 19日現在の役職にて記載。日本国内委員会役員については、2014年 7月 1日より新役員による新体制になっております。

(2)日本からの参加者(合計 24社・団体 144名)

①石油精製	4社	38名
②石油開発	3社	27名
③電力・ガス等	2社	3名
④エンジニアリング・プラント	5社	48名
⑤輸送	1社	1名
⑥建設	1社	1名
⑦商社	1社	5名
⑧非営利団体(国内委員会事務局含む)	4団体	16名
⑨大学・学術界	3大学	5名

※ 上記社数、人数は(1)の主な参加者数、非会員 6名、海外駐在等による海外からの参加者を含んだ人数を記載しております。

※ 日本国内委員会主催レセプションのみの参加者は含んでおりません。

補足４

第 21 回世界石油会議モスクワ大会報告にご協力頂いた皆様

今大会のご報告に際し、下記の会員の皆様に執筆、ご協力を頂きました。

速報版報告書につきましては、大会終了約 1 月後、皆様にお届けすることが出来ました。

下記の方々以外にも、会員、関係者の多くのご協力を賜り無事、今大会の一連の行事を遂行することが出来ました。厚く御礼申し上げます。

（敬称略、順不同）

報告部門	*所属機関名*	*氏名*	*備考*
全体会議 (Plenary)	日揮株式会社	水口 能宏	報告者
石油開発	（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構	本村 真澄	報告者
	国際石油開発帝石株式会社	田中 弘樹	報告者
	石油資源開発株式会社	手塚 和彦	報告者
精製、輸送、石油化学	JX 日鉱日石エネルギー株式会社	五十嵐 仁一	報告者
	出光興産株式会社	藤本 倫生	報告者
天然ガスのプロセス、輸送、市場	千代田化工建設株式会社	中村 守孝	報告者
	大阪ガス株式会社	石黒 千賀子	執筆者
持続可能な産業管理	日揮株式会社	水口 能宏	報告者
	千代田化工建設株式会社	杉 宣重	報告者
	(一財) 石油エネルギー技術センター	中岡 哉徳	報告者
展示活動	千代田化工建設株式会社	豊嶋 学	報告者

報告者：9 月 4 日報告会で報告いただいた方々。

第21回世界石油会議モスクワ大会報告（速報版）作成にご協力頂いた皆様

ご担当部門	氏名	企業・機関名	所属
全体講演(PL)			
開会セッション(PL1)	篠原　建仁	国際石油開発帝石（株）（以下INPEXと称す。）	ユーラシア中東事業本部
開会講演(PL2)	桐山　和幸	コスモ石油（株）	製造技術部計画Gr
PL3	五十嵐　仁一	JX日鉱日石エネルギー（株）	中央技術研究所
PL4	武藤　昭博	千代田化工建設（株）	研究開発センター
PL5	西川　修平	（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下JOGMECと称す。）	評価部審査課
PL6	略		
PL7	略		
PL8	内川　啓	出光興産（株）	広報CSR室広報課
PL9	水口　能宏	日揮（株）	プロセスエンジニアリング統括部 プロセス計画部兼経営戦略室 部長代行
PL10	熊野　裕介	（株）地球科学総合研究所	研究開発部物性解析グループ 研究員
PL11	略		
BLOCK1			
F01	岡部　博	JOGMEC	企画調整部企画課
F02	田中　弘樹	INPEX	技術本部技術企画U
F03	本村　眞澄	JOGMEC	調査部・エネルギー資源調査課 調査役
F04	田中　弘樹	INPEX	技術本部技術企画U
F05	安藤　利彦	INPEX	技術本部評価技術U物探G
F06	川田　耕司	石油資源開発（株）（以下JAPEXと称す。）	米州・ロシア事業本部北米 シェールプロジェクト部　部長
F07	田中　弘樹	INPEX	技術本部技術企画U
F08	手塚　和彦	JAPEX	技術本部技術研究所　所長
BPK01	本村　眞澄	JOGMEC	調査部・エネルギー資源調査課 調査役
BPK02	略		
RT01	安藤　利彦	INPEX	技術本部評価技術U物探G
RT02	本村　眞澄	JOGMEC	探査部・海外調査課　調査役
RT03	山田　泰生	JAPEX	技術本部技術研究所　所長付

BLOCK2			
F09	五十嵐　仁一	JX日鉱日石エネルギー(株)	常務執行役員中央技術研究所所長
	渡邊　学	JX日鉱日石エネルギー(株)	中央技術研究所燃料油G担当マネージャー
F10	藤本　倫生	出光興産(株)	生産技術センタープロセス技術室　精製技術1グループリーダー
F11	三橋　秀一	JX日鉱日石エネルギー(株)	機能化学品カンパニー開発企画G 担当マネージャー
F12	杉　宣重	千代田化工建設(株)	技術本部石油・化学・新エネルギー設計ユニット　G.M
F13	細野　恭生	千代田化工建設(株)	プロジェクト開発事業本部
BPK03	桐山　和幸	コスモ石油(株)	製造技術部計画Gr
BPK04	杉　宣重	千代田化工建設(株)	技術本部石油・化学・新エネルギー設計ユニット　G.M
RT04	内川　啓 中岡　まゆみ	出光興産(株)	広報CSR室広報課・国際需給部原油課
RT05	三橋　秀一	JX日鉱日石エネルギー(株)	機能化学品カンパニー開発企画G 担当マネージャー
RT06	小笠原　巌	JX日鉱日石エネルギー(株)	技術部技術企画2グループ

BLOCK3			
F14	中村　守孝	千代田化工建設(株)	技術本部　副部門長
F15	石黒　千賀子	大阪ガス(株)	資源海外事業部　主任研究員
F16	水口　能宏	日揮(株)	プロセスエンジニアリング統括部プロセス計画部兼経営戦略室部長代行
F17	中岡　まゆみ	出光興産(株)	国際需給部原油課
BPK05	手塚　和彦	JAPEX	技術本部技術研究所　所長
BPK06	細野　恭生	千代田化工建設(株)	プロジェクト開発事業本部
BPK07	水口　能宏	日揮(株)	プロセス技術本部プロセス1部
RT07	石黒　千賀子	大阪ガス(株)	資源海外事業部　主任研究員
RT08	石黒　千賀子	大阪ガス(株)	資源海外事業部　主任研究員
BLOCK4			
F18	水口　能宏	日揮(株)	プロセスエンジニアリング統括部プロセス計画部兼経営戦略室部長代行
F19	略		
F20	水口　能宏	日揮(株)	プロセスエンジニアリング統括部プロセス計画部兼経営戦略室部長代行
F21	略		
F22	中岡　哉徳	(一社)石油エネルギー技術センター	技術企画部　上席主任研究員兼ペトロリオミクス推進室長
F23	水口　能宏	日揮(株)	プロセスエンジニアリング統括部プロセス計画部兼経営戦略室部長代行
F24	略		
F25	杉　宣重	千代田化工建設(株)	技術本部石油・化学・新エネルギー設計ユニット　G.M
BPK08	略		
BPK09	略		
RT09	中岡　まゆみ	出光興産(株)	国際需給部原油課
RT10	手賀　幹雄	国内委員会	事務局
RT11	小笠原　巌	JX日鉱日石エネルギー(株)	技術部技術企画2グループ
RT12	略		

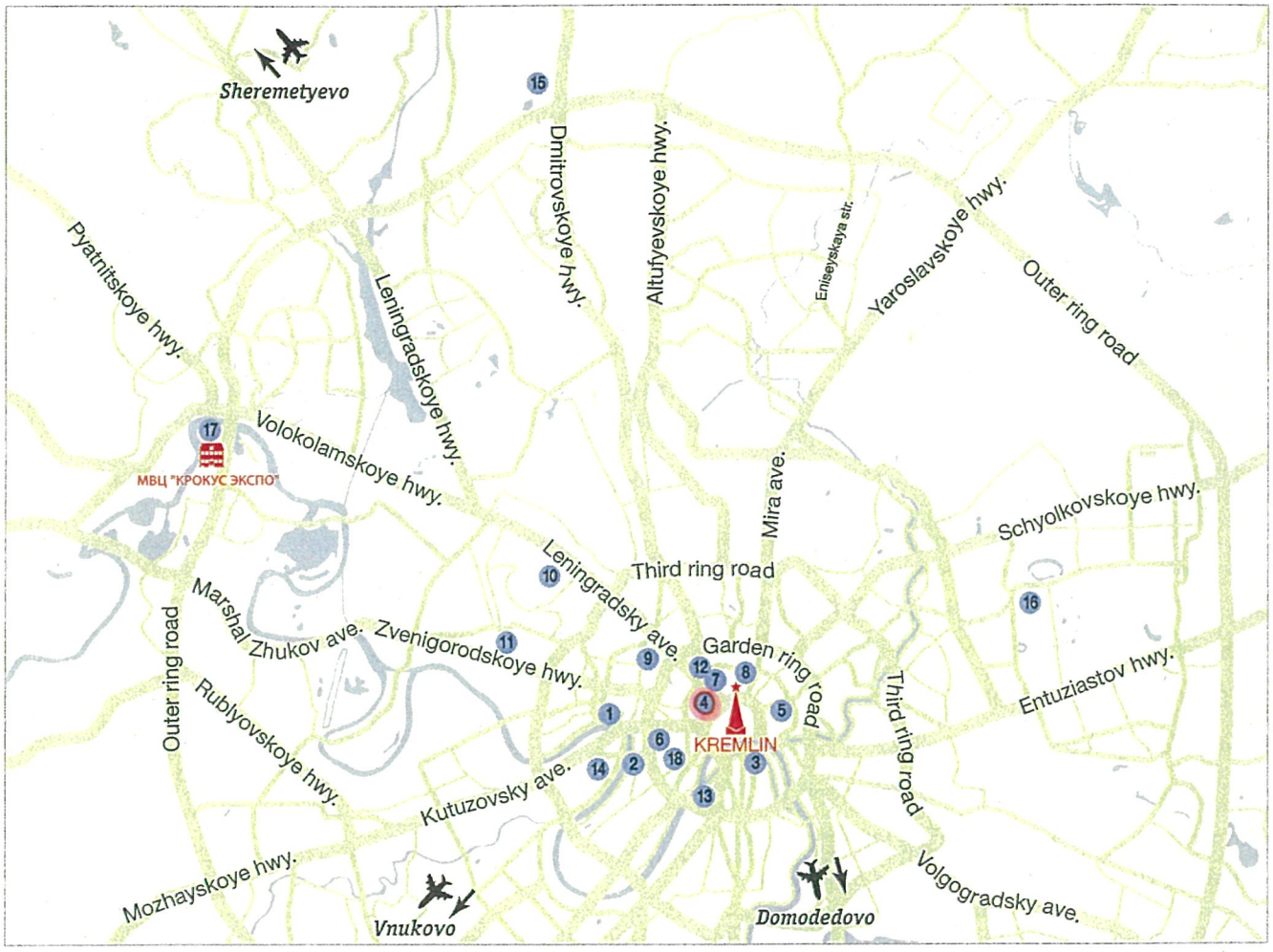
延べ49人　実質28名のご協力　　略:参加しなかったセッション

ブース訪問コース【日本企業】

2014年4月25日現在

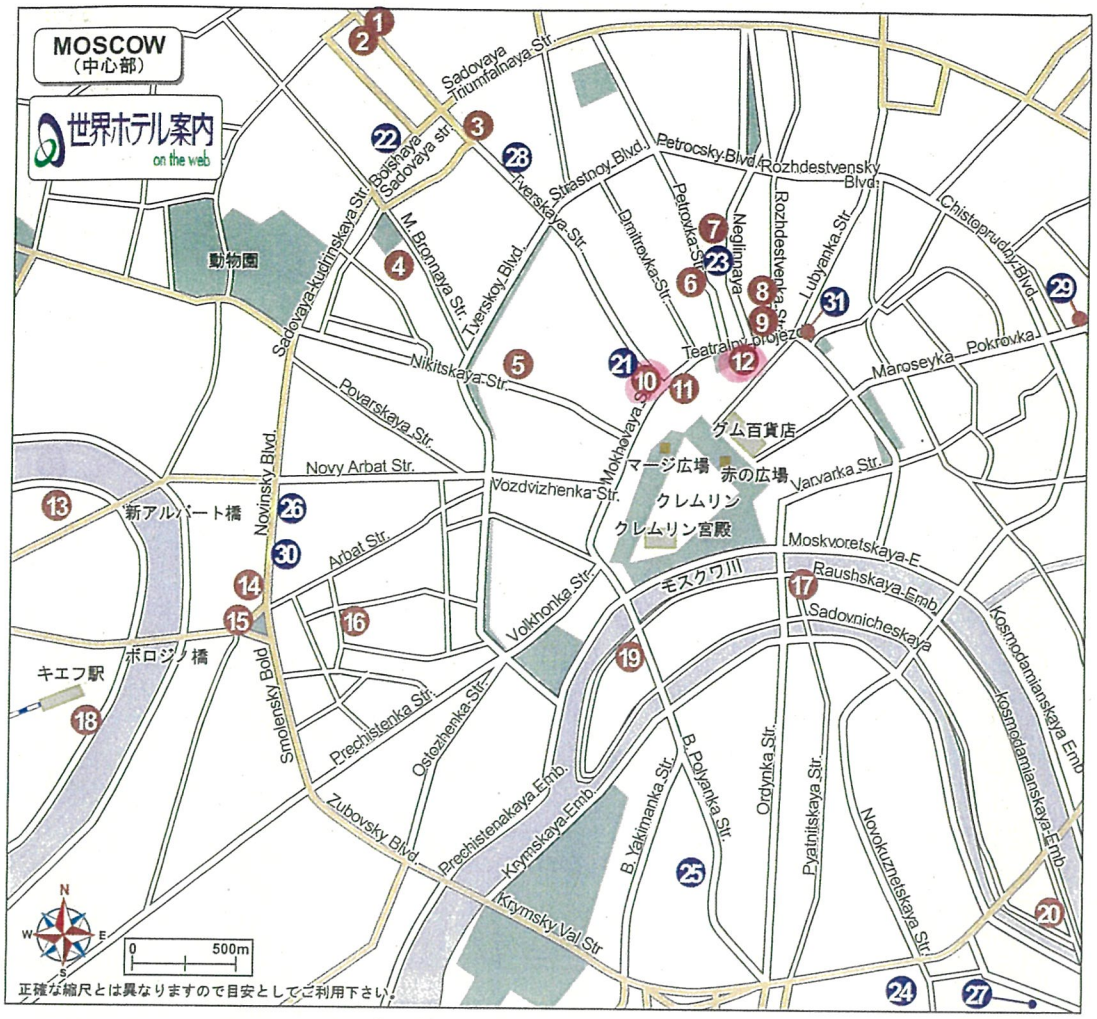
HALL	m²
13	9,509
14	10,188
15	10,174
計	29,871

MAP

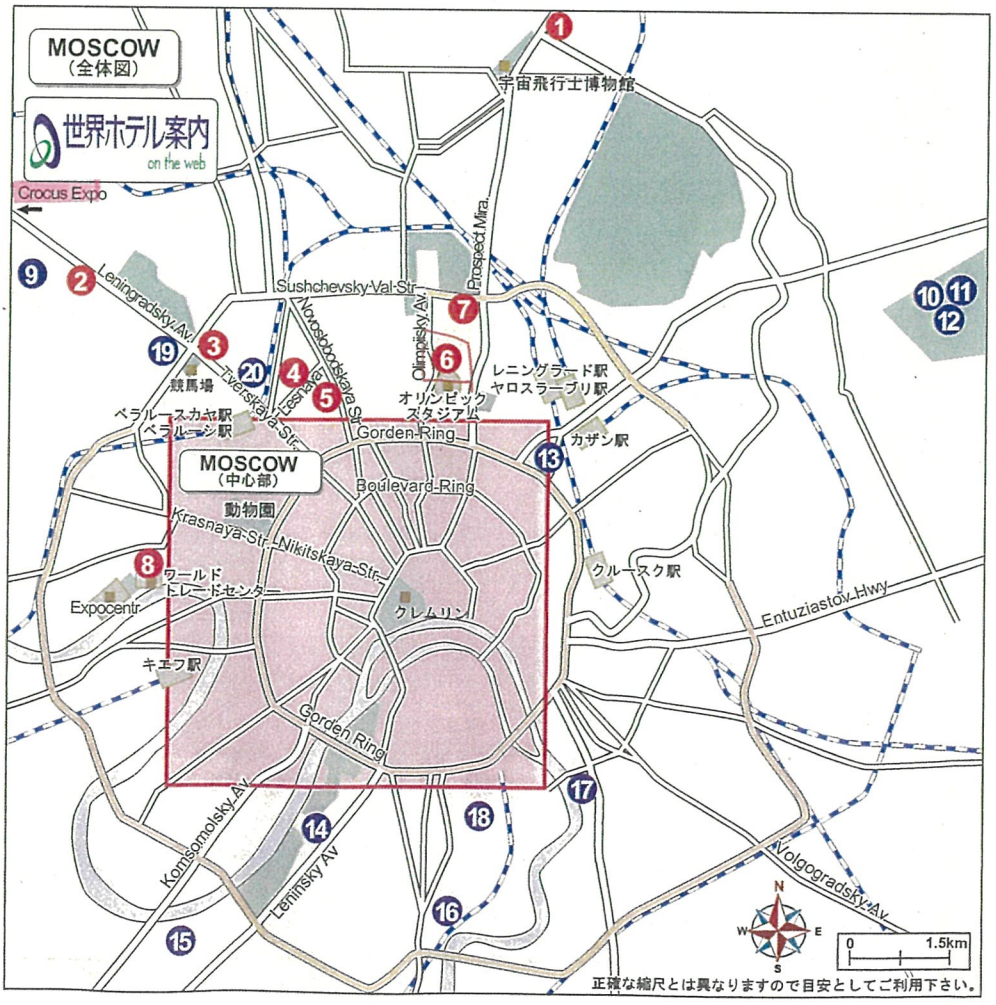


1. CROWNE PLAZA MOSCOW WORLD TRADE CENTRE 5*
2. GOLDEN RING HOTEL 5*
3. HOTEL BALTSCHUG KEMPINSKI MOSCOW 5*
4. HOTEL NATIONAL, MOSCOW 5*
5. HOTEL NIKOLSKAYA KEMPINSKI MOSCOW 5*
6. LOTTE HOTEL MOSCOW 5*
7. MOSCOW MARRIOTT GRAND HOTEL 5*
8. MOSCOW MARRIOTT ROYAL AURORA HOTEL 5*
9. SHERATON PALACE HOTEL MOSCOW 5*
10. AEROSTAR HOTEL MOSCOW 4*
11. KASSADO PLAZA 4*
12. MOSCOW MARRIOTT TVERSKAYA HOTEL 4*
13. PRESIDENT HOTEL 4*
14. RADISSON SLAVYANSKAYA HOTEL AND BUSINESS CENTRE, MOSCOW 4*
15. SK ROYAL HOTEL 4*
16. ALFA HOTEL 3*
17. AQUARIUM HOTEL 3*
18. ARBAT HOTEL 3*

1 Moscow Marriott Tverskaya Hotel
2 Sheraton Palace Hotel, Moscow
3 Moscow Marriott Grand Hotel
4 Marco Polo Presnja Hotel
5 Courtyard by Marriott Moscow City Center
6 Moscow Marriott Royal Aurora Hotel
7 Budapest
8 Savoy Hotel Moscow
9 Ararat Park Hyatt Moscow
10 Hotel National, Moscow / a Luxury Collection
11 Hotel Moskva
12 Hotel Metropol Moscow
13 Radisson Royal Hotel, Moscow
14 Golden Ring Hotel
15 Hotel Belgrad
16 Arbat Hotel
17 Hotel Baltschug Kempinski Moscow
18 Radisson Slavyanskaya Hotel & Business Centre
19 President Hotel
20 Swissotel Krasnye Holmy
[新掲載ホテル]
21 Ritz-Carlton Moscow
22 Peking Hotel
23 Peter I Hotel
24 Hotel Tatiana
25 Park Inn by Radisson Sadu, Moscow Hotel
26 Lotte Hotel Moscow
27 Courtyard by Marriott Paveletskaya
28 InterContinental Moscow - Tverskaya
29 Mamaison All - Suites Spa Hotel Pokrovka
30 Mercure Arbat Moscow
31 Hotel Nikol fskaya Kempinski Moscow



1 Cosmos Hotel
2 Aerostar Hotel Moscow
3 Hotel Sovietsky
4 Holiday Inn Moscow - Lesnaya
5 Novotel Moscow Centre
6 Renaissance Moscow Olympic Hotel
7 Holiday Inn Moscow - Suschevsky
8 Crowne Plaza Moscow World Trade Centre Hotel
[新掲載ホテル]
9 Art Hotel Moscow
10 Hotel Alfa
11 Best Western Vega Hotel & Convention Centre
12 Izmailovo Gamma-Delta
13 Hilton Moscow Leningradskaya
14 Hotel Sputnik
15 Korston Hotel & Casino Moscow
16 Danilovsky Hotel
17 Holiday Inn Moscow - Simonovsky
18 Ibis Moscow Paveletskaya
19 Renaissance Moscow Monarch Centre Hotel
20 Radisson Blu Belorusskaya Hotel, Moscow



第２１回世界石油会議　モスクワ大会

日本国内委員会　報告会

報告集

2014年9月

発行　世界石油会議　日本国内委員会

〒100-0004　東京都千代田区大手町1-3-2

経団連会館17階（石油連盟内）

TEL　03-5218-2302

無断転載・複製を禁ず

2014
MOSCOW
21ST WORLD
PETROLEUM
CONGRESS

http://www.21wpc.com/

Japan National Committee of WPC

http://www.wpcjnc.jp/